

日本農芸化学会中四国支部  
学会創立 100 周年記念 第 40 回若手シンポジウム

# 植物科学とSDGs

～環境ストレス応答の理解と応用～

日時：2024年12月11日(水) 15:00 - 17:40  
場所：島根大学生物資源科学部1号館101室

## プログラム

- 15:00 - 15:05 シンポジウムのねらい
- 15:05 - 15:40 石川 孝博 (島根大学生物資源科学部)  
ユーグレナに学ぶ低酸素応答機構
- 15:40 - 16:15 真野 純一 (山口大学農学部)  
植物細胞のストレス応答 (生か死か) を決定づけるシグナル因子  
「活性カルボニル種」
- 16:15 - 16:25 休憩
- 16:25 - 17:00 蜂谷 卓士 (島根大学総合科学研究支援センター)  
モデル植物の接ぎ木を用いた新規高機能植物プロトタイプの開発
- 17:00 - 17:35 横井 彩子 (農研機構・生物機能利用研究部門)  
偶然に頼らない精密ゲノム編集技術～持続可能な社会への貢献～
- 17:35 - 17:40 おわりに



4名の植物科学のエキスパートに、ご自身の研究をわかりやすくご講演いただきます。学部・大学院生の参加も大歓迎です。事前登録は不要です (参加費無料)。

世話人 (問い合わせ先)  
島根大学生物資源科学部  
〒690-8504 松江市西川津町1060  
丸田隆典 (maruta@life.shimane-u.ac.jp)

共催：島根大学、第405回 細胞工学研究会講演会  
後援：第278回 遺伝子機能解析部門セミナー